

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

平成26年第4回 那須塩原市議会定例会 (12月)

【代 表 質 問 者】

公明クラブ

12番 鈴木 紀 議員

志絆の会

14番 眞壁 俊郎 議員

敬清会

21番 相馬 義一 議員

受付番号	平成26年11月14日
第幾号	午前 午後 4 時 30 分受付

平成26年11月14日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

会派名 公明クラブ

議席番号 12番 鈴木 紀



会派代表質問通告書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
那須塩原市の将来像をどう描き進めていくのかについて	いよいよ明年の平成27年1月1日は、那須塩原市が誕生し、合併10周年を迎えることとなります。さらに那須塩原市誕生10周年記念事業も予定されており、平成27年度当初予算編成方針も先日の全員協議会で発表されました。 今年度平成26年度は定住促進元年予算と位置付け、“人々から選ばれるまちづくり”をキーワードに人口の減らないまちづくりを推進してきました。 阿久津市政の平成27年度の事務事業推進のキーワードを“未来への投資”としたのも人口減少克服として、本市の独自施策を、子どもへの投資、若年・女性が活躍できる環境への投資、障害者や高齢者など市民が安全・安心に暮らせる住みよさへの投資などを積極的に展開することを挙げています。 それらのことを踏まえて、那須塩原市10周年を迎えるにあたり、お伺いします。 (1) 本市のこれからの30年後、40年後（誕生50年）の将来像をどう描き、阿久津市政は進んでいくのか、お聞かせください。

受付番号	平成26年11月17日
第3号	午前 10時30分受付 午後

平成26年11月17日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

会派名 志絆の会

議席番号14番 眞壁俊郎



会派代表質問通告書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 平成27年度当初予算編成について	平成26年度は、「人々から選ばれるまちづくり」をテーマに定住促進を推進し、持続可能な社会の構築や個性を活かしたまちづくりに邁進しているところであります。平成27年度については、市長就任4年目、那須塩原市誕生10周年の記念となる年で、次の時代に向けて力強い一歩を踏み出していける予算にしたいと考えているとのことである。国においては、地方創生に向けた取り組みが始まり、平成27年度当初予算は、本市にとっても人口減少社会への対応は急務であり、大変重要な予算編成になることから伺うものです。 (1) 平成27年度は、市長就任4年目、那須塩原市誕生10周年の記念の年となるが市長の意気込みを伺う。 (2) 国は、地方創生担当大臣を新設するなど、地方創生を進めるが平成27年度の歳入見込みについて伺う。 (3) 事務事業推進のキーワードを、「未来への投資」としているが、どのような事業を、重点・新規事業等として想定しているのか伺う。 (4) 持続可能な財政運営について伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画について	黒磯駅周辺地区都市再生整備計画については、都市機能の向上による持続可能な中心市街地くろいその再興を大目標に、快適な生活と滞在が可能な都市形成、地域資源を活かした商業空間の集積による街の魅力向上と賑わいの再生、交通結節機能の強化と駅東西市街地の一体性の確保を目的に、本年度より事業が開始された。人口減少や急激な高齢化に対応するため黒磯駅周辺の活性化は、長年の課題でもあった。この事業を成功するためには、地域住民の自主性や行政との連携が大変重要となることから伺うものです。 (1) 進捗状況について伺う。 (2) 黒磯駅前及び周辺地域活性化懇談会の最終報告が出されたが今後の対応について伺う。 (3) まちなか再生事業の状況について伺う。 (4) 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画のコンセプトを伺う。 (5) 住民が自ら主体となることが大変重要であるが、連携について伺う。
3. 総合計画実施計画平成27～28年度について	平成27～28年度の重点事業及び新規事業について伺うものです。 (1) 放射能対策事業について伺う。 (2) 子育て応援券の交付について伺う。 (3) 放課後こども教室事業について伺う。 (4) 那須塩原駅周辺地区都市再生整備計画事業について伺う。 (5) 庁舎建設事業について伺う。

受付番号	平成 26 年 // 月 / 日
第 / 号	午前 / 午後 (午後) / 時 分 受付

平成 26 年 11 月 14 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

会派名 敬 清 会

議席番号 21 番 相 馬 義 一



会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成 26 年第 4 回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 平成 27 年度実施計画と予算	平成 17 年 1 月 1 日、県内合併第 1 号として新市那須塩原市が誕生し 10 年が経過しようとしております。
編成方針について	少子高齢化、厳しい財政状況、社会経済の変化や地方分権の進展と、地方制度の変化に対応できるまちづくりを構築してきた第 1 次那須塩原市総合計画も残すところ 2 年となります。
	また、阿久津市長任期後期の予算編成になることから、以下の点についてお伺いします。
	(1) 事務事業推進のキーワードを「未来への投資」とし、本市独自の施策として、「将来を担う子どもへの投資」、「若者・女性
	が活躍できる環境への投資」、「障害者や高齢者など市民が安全・安心に暮らせる住みよさへの投資」と掲げておりますが、
	どのような事業内容を計上するか、お伺いします。
	(2) 市政誕生 10 年を経過し、合併の検証をふまえた予算編成と
	していくのか考えをお伺いします。
	(3) 実施計画から、以下の事業について内容をお伺いします。
	① 子育て応援券事業について
	② 那須塩原市立地適正化計画策定について

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	③那須塩原駅東口エレベーター事業について
	④市政10周年プレミアム商品券について
2. 固定資産税の課税について	平成26年6月に発覚した固定資産税の過大徴収、約1億1千万円について、以下のとおり、お伺いします。 (1)処理の進捗状況について、お伺いします。 (2)対応について、お伺いします。 (3)再発防止に関する考えを、お伺いします。
3. 教育行政について	平成22年に小中学校適正配置基本計画が策定され、保護者や地域住民の多くの意見、要望等がだされた中、本年度には、2校が新たなスタートをきりました。児童・生徒への影響が気になりますが、平成28年度は1段階目であると考えられるため、以下について、お伺いします。 (1)小中学校適正配置基本計画の進捗状況について (2)特認校制度に取り組んでいる8校の取り組みと成果について (3)小中学校一貫教育校を実施した塩原小中学校の評価は如何か。 (4)平成27年度以降の計画における内容と一貫教育を進める理由について
4. 農業行政について	平成26年度の本市の農業は、放射能の風評被害が払拭されない状況にもかかわらず、大雪や突風さらには有害鳥獣等の被害も発生し、農業を取りまく環境は良いものとは言えませんでした。 さらに、平成26年度産の米価概算金は、8,000円/60kgと生産者

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	にとりましては二重三重の苦しみとなった年であります。
	また、先日安倍総理の会見からＴＰＰ交渉も出口が見えてきたと
	いう発言があり、ＴＰＰ参加に絶対反対を掲げている農業関係者
	の方々は、暗澹たる思いであろうと思います。
	そこで、以下の点について、お伺いします。
	(１)米価下落の影響に対し、市の新たな取り組みがあれば、お伺
	いします。
	(２)米価下落の影響による農地の売買、貸借状況及び条件不利地
	域の問題についての考えをお伺いします。
	(３)有害鳥獣被害による農作物の被害状況とその支援について、
	お伺いします。
５．那須塩原駅前周辺整備につ	那須塩原駅西口区画整理事業も終了し、本市の都市計画の拠点
いて	となると思われる那須塩原駅周辺の今後の整備について、以下の
	とおり、お伺いします。
	(１)本市の玄関口である那須塩原駅西口（広場を含む）は、整
	備済みではありますが、改良を求める声も聞こえております。
	市の玄関口として、ＪＲと連携し、新たな整備を計画する考
	えがあるか、お伺いします。
	(２)那須塩原駅東口におきましては、エレベーター設置計画が
	たちましたが、今後どのような整備が考えられるか、お伺い
	します。
	また、駅東口より国道４号までの整備計画について、所感を、
	お伺いします。

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 6 年 第 4 回

那須塩原市議会定例会

(12 月)

【一 般 質 問 者】

5 番	佐藤 一則	議員	1 3 番	磯飛 清	議員
2 0 番	山本はるひ	議員	1 番	藤村由美子	議員
8 番	大野 恭男	議員	7 番	櫻田 貴久	議員
1 9 番	若松 東征	議員	3 番	相馬 剛	議員
1 5 番	齋藤 寿一	議員	1 8 番	金子 哲也	議員
2 番	星 宏子	議員	1 2 番	高久 好一	議員
4 番	齊藤 誠之	議員	2 3 番	平山 啓子	議員
2 2 番	玉野 宏	議員			

受付番号	平成26年11月10日
第 / 号	午前 8時30分受付 午後

平成26年11月10日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 5番 佐藤 一則



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 奨学資金制度について	マララ・ユサフザイさんは、パキスタンのスンニ派の家庭に生まれ、父親が地元で女子学校の経営をしており、彼の影響を受けて学校に通って医者を目指していました。2007年に武装勢力パキスタン・タリバン運動(TTP)が一家が住むスワート渓谷(スワート県)の行政を掌握すると恐怖政治を開始し、特に女性に対しては教育を受ける権利を奪っただけでなく命を狙うような状況になりました。2009年、11歳の時にTTPの支配下にあったスワート渓谷で恐怖におびえながら生きる惨状をBBC放送の依頼でペンネームで投稿してタリバーンによる女子校の破壊活動を批判、女性への教育の必要性や平和を訴える活動を続け、英国メディアから注目されました。TTPがパキスタン軍の大規模な軍事作戦によってスワート渓谷から追放された後、パキスタン政府は彼女の名前を公表し、その後、政府主催の講演会で女性の権利などについて語った事によりTTPから命を狙われる存在となり2012年10月9日、通っていた中学校から帰宅するためスクールバスに乗っていたところを銃撃され頭部と首に銃弾を受け負傷しました。それでも、怯まず教育の重要性を訴えて今年17歳で史上最年少でノーベル平和賞を受賞しました。教育を受けることは、非常に重要であると考えます。本市においても、経済状況や家庭環境の変化から援助を必要とする児童生徒が増えており、就学援助は不可欠であることから次の点についてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1)貸与について
	① 奨学資金貸与の具体的条件(基準)についてお伺いします。
	② 平成25年度の応募者数と貸与決定者数についてお伺いします。
	③ 現時点での月額貸与者総数と総額についてお伺いします。
	(2)返還について
	① 返還時の手続きについてお伺いします。
	② 返還義務者総数と年間の総額についてお伺いします。
	③ 滞納者への催促状況についてお伺いします。
	(3)制度の見直しについて
	① 教育委員会点検・評価報告書にも記載してあるが、奨学資金制度の見直しについての考えや進行状況についてお伺いします。
	② 奨学資金を貸与型から給付型へ転換する考えがあるかお伺いします。
2. 農業政策について	日本農業のモデルとなるような生産及び所得水準の高い農業経営を確立し、豊かで住みよい近代的な農村社会をつくるという観点から世紀の大事業が計画され、1957年5月に日本の湖沼で琵琶湖に次ぐ2番目の面積を誇った八郎潟の干拓事業が着工され、20年の歳月と事業費852億円を投じて約17,000haの干拓地が造成され大潟村が誕生しました。その特徴は農地規模の大きさと、それを活かして独立独歩による産業化に成功した事例であり、1農家当たりの農地配分面積は15haと全国平均の11倍であります。6世帯わずか14人でスタートし、2014年10月1日時点での総人口は、3,117人。全国の多くの農家にとって最大の悩みである後継者問題とも無縁であります。農地の大規模化、産業化が進み人口も安定している大潟村は、農村部から若者流出に歯止めがかかっている

[illegible]

受付番号	平成26年11月10日
第2号	午前 9 時 5 分受付 午後

平成26年11月10日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

質 問 者 議席番号13番 五峰クラブ

磯飛 清 

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 広域行政について	高度経済成長期以降の交通網の整備や情報手段の急速な発達・普及により、住民の活動範囲は行政区域を越えて飛躍的に広域化しており、広域的な交通体系の整備、公共施設の一体化的な整備や相互利用、行政区域を越えた土地の利用など広域的なまちづくりや施策に対するニーズが高まってきております。
	さらに、少子高齢化や人口減少問題、情報化の進展といった多様・高度化するとともに広域化する行政課題への的確な対応に迫られております。そのような中、本市においても中・長期的な展望を視野に、各種の広域的政策に積極的に取り組んでいることから伺うものであります。
	(1)「八溝山周辺地域定住自立圏構想」の進捗状況を伺う。
	(2)「那須地域定住自立圏構想」の進捗状況を伺う。
	(3)「那須地区合同研究会」について伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 放射性物質除染と震災復興	環境省は平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震
特別交付税について	に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環
	境の汚染への対処として、特別措置法(特措法)を定めた。
	本市においては本「特措法」に基づき、確実かつ効果的に放射線
	量の低減を図り、市民が安心して生活できる環境を取り戻すこと
	を目的に平成24年4月に「那須塩原市除染実施計画」を策定し
	これらに基づき公共施設の除染に取り組み、平成24年度からは
	住宅除染にも着手してきました。住宅除染において本特措法では
	栃木県内の表土除去は含まれていないことから、本市においては
	市単独事業として、18歳以下の子ども、または妊婦が居住する
	戸建て住宅の敷地内の表土除去除染をも実施してきました。
	これら単独事業に対し、先般「震災復興特別交付税」により財政支
	援が交付されたことから何うものであります。
	(1) 公共施設および住宅除染作業の進捗状況を伺う。
	(2) 「震災復興特別交付税」の詳細について伺う。
	(3) 「震災復興特別交付税」の運用について伺う。
3. 市職員の再任用について	毎年、年度末になると考え、直面することであります。
	定年退職する職員の能力、知識や経験を幅広い職域で活用すること
	ができないかと考える人は多くいると思います。
	有効な人材活用と公的年金の支給開始年齢の改定による、無収入期
	間の解消を図る目的に雇用と年金の接続として、再任用制度の見直
	しが図られたことから何うものであります。
	(1) 公務員の再任用制度の概要を伺う。
	(2) 本市における再任用制度の運用状況を伺う。
	(3) 27年度の運用についての考えを伺う。

[illegible]

受付番号	平成26年//月/0日
第3号	午前 // 時 40 分受付 午後

平成26年11月10日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 20番

山本 ぼるひ

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原市誕生10周年記念事業について	本市は来年1月1日に誕生10年を迎えます。平成27年1月1日から28年3月31日の間に「那須塩原市に生まれてよかった、住んでよかった」と実感でき、次世代のために夢のある那須塩原市にするために様々な記念事業や冠事業、特別事業を行うとことです。 (1) 10周年で行われる記念事業の内容を伺います。 (2) すでに決まった市の歌やシンボルマーク等を含めて、この記念事業にかかる予算について伺います。
2. 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画について	黒磯駅前地区の整備については、平成26年度より「黒磯駅周辺地区都市再生整備計画」に基づき事業を実施することになっています。しかし、その具体的な内容はまだ示されていません。 そこで、今後この計画を進めていくための基本的な考え方についてと、イメージだけで具体的な事業内容となっていない駅前図書館やまちなか交流センター等について伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1)「黒磯駅前及び周辺地域活性化懇談会」の最終報告がありました。市は、この報告書をどのようにとらえているのか伺います。また、この報告内容を整備計画にどのように反映させていくのか伺います。
	(2) 駅前活性化プロジェクトとして「えきっぷくろいそ」が立ち上がっています。この組織設立の経緯と目的、活動内容、構成メンバーについて、また、この組織と市との関係はどのようなになっているのか伺います。
	(3)「えきっぷくろいそ」のワークショップで出てきた意見や結果を、整備計画にどのように反映していくつもりか伺います。
	(4)「えきっぷくろいそ」は、12月5日から「まちづくり市民投票in那須塩原市」を実施するとのこと。この投票の目的、投票方法、投票項目の内容、投票できる人の範囲についてと、投票結果の公表はどのようにするのか、また、結果を整備計画にどのように反映させるのか伺います。
	(5) 駅前図書館、まちなか交流センターの活用や運営について、地域で検討していると聞いています。どのような手法で決めていくのか、これまでの検討内容と今後の進め方を伺います。
	(6) 街なみ環境整備事業について、予定事業の内容、事業予定箇所、整備方針を伺います。
	(7) 県道黒磯駅前通りの整備について、都市計画道路との整合性をどのように考えているのか、さらに、整備計画内の都市計画道路の現状と今後の整備計画の考え方を伺います。

受付番号	平成26年 11月 10日
第 4 号	午前 〆 時 〆〇 分受付 午後

平成26年11月10日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 1 番

藤村 由美子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 自然にも人にもやさしい那須塩原で子どもたちを育てるために	定住促進を推進し、人口を減らさないことを目指している那須塩原市として、子育てにおいて目玉となる施策はなんのでしょうか、お伺いします。
2. 子ども・子育て支援新制度について	平成27年度4月から本格スタート予定の「子ども・子育て支援新制度」。10月1日から31日までの間、那須塩原市において、来年度の第1回目の入園選考の申し込みが行われました。入園の申し込みが始まるこの時期になって、様々な課題が浮上していることが報道等で発表されたことから、あらためてこの新制度についてお伺いします。
	(1) 認定こども園について
	① 入園の手続きや保育料の負担など、保護者にとってこれまでと変わった点は何か、お伺いします。
	② 平成27年度のスタート時点における、当市の認定こども園への移行状況をお伺いします。
	③ 平成27年度に新制度に移行しない園について、その背景と市の見解をお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2) 保育園と小規模保育施設について
	① 当市における小規模保育園について、0～2歳児の保育ニーズは満たされる見込みか、お伺いします。
	② 3歳になってからの受け入れ先について、連携が取れているか伺います。
	③ 保育園の民営化について、現状と今後の計画をお伺いします。
	(3) 地域の子育て支援の充実について
	① 新制度は、共働き家庭だけでなく、すべての子育て家庭を支援する仕組みです。内閣府子ども・子育て支援新制度施行準備室発行のパンフレットによると、子育てに関することなら、何でも相談できる「利用者支援専門職員（仮称）」の事業が創設されるとあります。この「利用者支援専門職員（仮称）」の職務の内容とどこに配置されるのかお伺いします。
	② この「利用者支援専門職員（仮称）」と、現在地区ごとの家庭を回って相談を受けている「家庭相談員」との違いを教えてください。
	③ 平成26年度における養育支援訪問・乳児家庭全戸訪問の実施実績と、今後はどのように充実が図られるのかお伺いします。
	④ 市内に、地域の子育て支援拠点が何か所あるのか、その実施状況をお伺いします。
	(4) 保育の質の確保について
	待機児童解消のために大きく制度が変わり、認定こども園や小規模保育など、教育・保育の量的拡充が図られるわけですが、同時に保育の質の確保も進められなければなりません。新制度の中でどのように担保されるのか、お伺いします。

受付番号	平成 26 年 11 月 11 日
第 5 号	午前 3 時 05 分受付 午後

平成 26 年 11 月 11 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 8 番 大野 恭男



市 政 一 般 質 問 通 知 書

平成 26 年第 4 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を以下の通り通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 高齢者福祉事業について	高齢者福祉事業は、市の重要な施策と思われます。 高齢者がどのような状態になっても、個人の尊厳がしっかりと保持され、自立して、自分らしく暮らせるよう、「高齢者が住み慣れた地域で健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」を基本的な目標とし、第5期那須塩原市高齢者福祉計画が着々と進められているかと思います。 現在は、来年度から進められる第6期那須塩原市高齢者福祉計画を策定中かと思われることから、以下の点について、お伺いします。 (1)社会参加活動の支援をどのように取り組んできたか。また、課題があるとすれば、何かお伺いします。 (2)健康づくり・介護予防事業の推進について、どのように取り組んできたか。また、課題があるとすれば、何かお伺いします。 (3)居場所づくり・地域見守り支え合い体制の構築について、どのように取り組んできたか。また、課題があればお伺いします。

受付番号	平成26年11月12日
第6号	 午前 9時30分受付 午後

平成26年11月12日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 7番 櫻田貴久



市 政 一 般 質 問 通 知 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を以下の通り通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 観光振興の推進について	観光経済新聞社が主催する、第28回「にっぽんの温泉100選」の中間集計が発表され、それによると、群馬県草津温泉がトップの座を確保し、12年連続1位に王手をかけました。中間段階で新たに100選にランクインした13温泉地には、我が塩原温泉も入っており、65位と特に躍進が目立っています。
	塩原は、温泉の発祥が1200年以上も前の大同元年(806年)と歴史があり、派手さはないが、泉質の多様性や豊かな自然は、今後注目を集めそうであると、業界誌に掲載されています。
	また、11月からは、那須塩原市の観光についての告知が、首都圏の各所で始まりました。そこで、以下の点についてお伺いします。
	(1) 11月から首都圏で行う本市の観光の告知について、詳細な内容をお伺いします。
	(2) 東京を拠点とする観光誘客促進強化委託事業の契約内容についてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 （ 詳 細 に ）
	(3) 観光は、本市にとっても大きなポテンシャルのある産業です。そこで、多くの観光客を迎え入れるにあたり、組織の整備についての考えをお伺いします。
	(4) 首都圏での市内観光地の認知度アップを図るプロモーション事業は、十分に認知度低下にあえぐ、塩原・板室両温泉街の売り込み攻勢を加速させる結果になっているが、今後はどのようにプロモーションをしていくのか、方針についてお伺いします。
	(5) 観光客の回遊促進等に向けた、地域間連携の強化についてお伺いします。
	(6) 宿泊関連業者は、さらなる宿泊の誘客に向けて、設備投資の積極化や、観光需要の変化に対応すべきであると思われますが、本市の支援策についてお伺いします。
	(7) 観光地「なすしおばらブランド」の構築についてお伺いします。
	(8) 本市の観光関連産業が、一段と成長・発展することにより、さらに地域活性化へとつながります。そこで、今後の本市の取り組みについてお伺いします。
2. シティプロモーション戦略の推進について	近年、多くの地方自治体において、地域の魅力を訴求するシティセールス、シティプロモーションの動きが起きている。シティプロモーションを進めるにあたり、①認知度の向上、②情報人口の拡大、③交流人口の増加、④定住人口の獲得、⑤シビックプライドの形成、⑥企業誘致が目的とされます。すなわち、民間企業（法人を含む）、あらゆる住民から「選ばれる自治体」に変貌することが目的です。
	とはいえ、この6点を全て目指している自治体はほと

質 問 事 項	質 問 の 内 容 （ 詳 細 に ）
	んどありません。自分たちの現状や特徴に合わせ、どれ
	かを選択し、戦略的にシティプロモーションを推進して
	います。先進的な自治体として挙げられる、千葉県流山
	市、東京都足立区、大阪府箕面市などは、プロモーショ
	ン効果で、いずれも定住人口や交流人口などを増加させ
	ています。
	そこで、本市のプロモーション戦略の推進について、
	以下の点をお伺いします。
	(1) 本市のシティプロモーション効果の現状と、進捗
	状況についてお伺いします。
	(2) 自治体名の認知度の向上が、結果的に交流人口や
	定住人口の増加、シビックプライドの形成、自治体の
	ブランド化につながると思うが、本市の取り組みにつ
	いてお伺いします。
	(3) 今後における本市のプロモーションの推進につい
	てお伺いします。
3. 那須塩原市の野球場	那須塩原市スポーツ施設整備計画では、くろいそ運動
とソフトボール場の整	場の本球場改修設計を平成27年度に予定しているが、
備について	野球を愛する市民にとっては非常に楽しみであります。
	なおかつ、本市では硬式野球のできる唯一の球場として
	の役割は大きく、また県北地域においては、ソフトボ
	ール競技も非常に盛んな地域であることから、くろいそ運
	動場の本球場と、本市のソフトボール場の整備内容と現
	状について、以下の点をお伺いします。
	(1) 野球場整備についての基本方針をお伺いします。
	(2) 野球場の現状と課題についてお伺いします。
	(3) 野球場整備計画について、今後の取り組みをお伺
	いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 （ 詳 細 に ）
	(4) ソフトボール場整備計画の基本方針についてお伺いします。
	(5) ソフトボール場の現状と課題についてお伺いします。
	(6) ソフトボール場整備計画について、今後の取り組みをお伺いします。
4. 黒磯那須消防組合消防本部・黒磯消防署の建て替えについて	那須地域広域消防運営計画は、大田原地区広域消防組合と黒磯那須消防組合を統合し、新たな消防組合を設置するため平成25年4月に設立された「那須地域消防広域化協議会」において、消防広域化後の常備消防の円滑な運営を確保するために、那須地区2市1町の総意のもとに策定されたものです。 そこで、今までたくさんの議員の方が質問をしてきましたが、黒磯那須消防組合消防本部・黒磯消防署の老朽化に伴う建て替えについて、以下の点をお伺いします。 (1) 黒磯那須消防組合消防本部・黒磯消防署の建て替えに係る、これまでの経緯についてお伺いします。 (2) 那須地域広域消防運営計画の中でも「第3章 広域化後の消防の円滑な運営の確保に関する事項、4. 施設整備」について、具体的にお伺いします。 (3) 黒磯那須消防組合消防本部・黒磯消防署の建て替えについて、今後どのように取り組んでいくのかお伺いします。

受付番号	平成26年11月12日
第7号	午前 11時15分受付 午後

平成26年11月12日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 19番 若松 東 征



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. スポーツイベント等を利用した観光誘客について	平成26年4月に開催された塩原温泉湯けむりマラソン全国大会や、11月3日に実施された那須塩原ハーフマラソンなど、本市で開かれるマラソン大会には、全国各地からたくさんのランナーが参加されております。 マラソンは、老若男女を問わず、気軽に楽しむことが出来る生涯スポーツであり、競技人口は、800万人を超えるとも言われております。 これらの大会に全国から参加頂いている皆様に、当市の魅力を存分に味わって頂き、本市の観光へつなげていくことを目指して、以下の点について伺います。 (1) 塩原温泉湯けむりマラソン全国大会について ①過去5年間にわたる参加人数の推移と、参加者の内訳(市内・市外・県外)、及び、大会を通じての、市内の宿泊施設等の利用について ②参加賞や賞品の現状と、今後について(那須塩原ブランド等市内産品等を積極的に用いる考えについて) ③大会における本市の役割と、誘客への取り組みについて

[illegible]

受付番号	平成26年11月13日
第8号	午前 9 時 30 分受付 午後

平成26年11月13日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 3 番

相 馬 剛



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. スポーツ少年団の全国大会 等に出場する場合の費用補 助について	本市のスポーツ団体が県の大会等で優秀な成績を修め関東大会や全国大会に出場することが議場でも話題に上る機会がよくあります。那須塩原市総合計画のもと、スポーツ振興と競技力の向上を図るため体育協会やスポーツ少年団の育成と活動支援に努められている成果ではないかと思います。9 月定例会に於いても全国大会等に出場する選手に贈る激励費を補正予算により増額しております。しかし、全国大会に出場するには開催場所によっては多額の費用が、かかります。特に団体競技に於いては多数の人員を要するため、その大会参加費・旅費・宿泊費・食費等多額の費用が必要となります。本市では、那須塩原市立小中学校児童生徒スポーツ等振興補助金交付要綱により学校教育活動として行われるスポーツ大会に参加するに当たり、児童生徒の心身の健全な育成を図る目的で交通費及び宿泊費の一部を補助する制度がありますが、スポーツ少年団が関東大会や全国大会に出場する場合、これらの補助はありません。多額の交通費や宿泊費を要する場合、地域の寄附や選手のご家庭の負担により出場しているのが現状で、保護者や指導者からは、大会で勝ち進むことを素直に喜べないと

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	いう声もあります、また、県内の他市町には、1 大会で 100 万円
	を超える補助をする自治体もあることから本市でも補助の制度も
	必要ではないかと思うことから以下の質問をいたします。
	(1) スポーツ少年団活動がスポーツ等振興補助金交付の対象外と
	している理由を伺います。
	(2) 補助金が交付されず全国大会等に出場する際、保護者や指導
	者が苦慮している現状に対し市の所見を伺います。
	(3) 今後、スポーツ少年団にも同様の補助金を交付することに対
	する市の所見を伺います。
2. 施設の指定管理者制度につ	本市の施設の運営に当たっては、現在 65 の施設でそのほとんど
いて	が平成 18 年 4 月から指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を
	行っております。指定管理者制度の導入における基本方針は、多
	様化する住民のニーズに応えるとともに、効果的、効率的に管理
	運営を行うために民間の能力を活用し、住民サービスの向上及び
	経費の節減を図るとし、また、市民の利用に支障が無いよう留意
	するとしています。
	平成 25 年度の市政報告書を見ると、指定管理者制度の対象とな
	っている施設で使用料収入が管理業務委託料を上回る施設がある
	一方、使用料収入が管理業務委託料を大きく下回る施設もありま
	す。そのような中、体育施設の利用状況で平成 24 年度と 25 年度
	を比較するとその利用人数が青木サッカー場で約 20000 人増、三
	島体育センターで約 6000 人増ですが、くろいそ運動場で 2000 人
	減、那珂川河畔運動公園で 4000 人減、にしなすの運動公園で 9500
	人減、塩原運動公園で 1900 人減となっております。青木サッカー

受付番号	平成26年 11月 14日
第 9 号	午前 11 時 00 分受付 午後

平成26年11月14日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 15 番 齋 藤 寿 一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 子ども未来部の創設について	市内の保育園における入園待ち児童の解消等を図るため、平成25年6月に策定した那須塩原市保育園整備計画に基づき、保育園・認定こども園・地域型保育施設に係る施策の整備等が実施されています。 近年の保育ニーズの多様化に伴い、子ども・子育て支援法において、市町村ごとに子ども・子育て事業の計画策定が義務付けられるなど、子育て支援に関する市民のニーズに対応するため、新たに子ども未来部を創設すると示されたことから、以下の点についてお伺いします。 (1) 子ども未来部を創設するが、その組織体系はどのようなものか、お伺い致します。 (2) 子ども未来部の事務分掌について、どのような位置づけにしていくのか、お伺い致します。 (3) 子ども未来部と教育部との連携について、お伺い致します。 (4) 子ども未来部の設置場所について、また、その職員体制をどのように考えているのか、お伺い致します。 (5) 那須塩原市子ども未来基金を創設する予定であるが、その

受付番号	平成 26 年 11 月 14 日
第 10 号	午前 11 時 30 分受付 午後

平成 26 年 11 月 14 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 18 番 金 子 哲 也



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 26 年第 4 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 中学生のオーストリア・リンツ派遣について	この 10 月に 36 名の中学生のリンツ派遣があり、収穫満載で無事に帰国したことを大変喜んでおります。
	若い人の視野を広める上でも、未来に向けての人格形成の上にも、とても大きな経験をしてきたことと思います。
	この事業は、教育の面はもちろんですが、国際交流の面からも、那須塩原市の太い柱となる事業となってきました。
	来年、リンツ市との姉妹都市が締結されれば、さらに充実したものに発展するであろうことを願い、以下のとおり伺います。
	(1) 今年度の中学生のリンツ派遣の成果を、伺います。
	(2) リンツで学んできた体験を、これからどう生かし、どうつなぎ、どう育んでいくべきか、伺います。
	(3) この成果や体験を、一般市民へどうお知らせし、伝えていくのか、伺います。
	(4) リンツからの中学生の受入れ体制の現状と課題を、伺います。また、今後どのように整えて行くべきか、伺います。
	(5) リンツ市の交流校であるリサ・インターナショナルとの間で、教育システムや事業課題、その他教育上の問題点など、

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	教師の立場からの情報交換や研修を進めることはできないか、伺います。
	(6) 現在行われている教育面だけの交流を、国際交流という観点へと発展させるべきと考えるが、その所見について、伺います。
2. 要支援児童、放課後応援事業について	「子どもの貧困」、「ネグレクト」、「虐待」が、毎日のように報道されています。そのような中で、本市では、養育が難しい家庭の子ども支援として、「要支援児童放課後応援事業」を立ち上げ、モデル事業として始めましたが、どのように活動し、どのような状況か、伺います。
3. 彫刻家「南庄作翁」の顕彰について	故南庄作翁は、我が郷土の最も誇り得る彫刻家、芸術家、文化人ですが、それにも関わらず、市民の中で認知されていないのが現状です。全国的にも誇れる南庄作翁の偉業と人間像を、今こそ見つめ直す時ではないかと考え、以下のとおり、伺います。 (1) 南庄作翁の展覧会に向けての考えを伺います。 (2) 西那須野駅前広場に、ブロンズ彫刻像を設置できないか、伺います。 (3) 烏ヶ森公園に、ブロンズ彫刻像を設置できないか、伺います。 (4) 那須野が原博物館に、南庄作翁の別館、または常設室をつくることはできないか、伺います。

受付番号	平成26年11月14日
第11号	午前 〇時45分受付 午後

平成26年11月14日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 2 番

星 宏子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 聴覚障害者のバリアフリーについて	9月の本会議において『手話言語法(仮称)の制定を求める意見書に関する陳情書』が採択され意見書を国へ提出しました。今後、更にバリアフリーが進み、音の聞こえる聞こえない関係なく生活できる環境整備が進むことを期待したいと思います。その上で、次の点についてお尋ね致します。 (1) 軽・中等度難聴児の補聴器補助の周知についてお伺い致します。 (2) 公共施設における、聴覚障がい者用、非常用パトライト(回転灯)の設置の現状と市の考えをお伺い致します。
2. 噴火に対する危機管理について	9月24日に御嶽山が水蒸気爆発し戦後最悪の57人が亡くなりました。あらためて犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。本市におきましても那須岳、高原山、日光白根山と活火山があり地震、水害、竜巻とともに噴火に対する災害対策が必要だと考えます。 上水道に関しましては、火山灰で汚染される可能性があります。桜島では貯水池にフッ素を含有する火山灰が流入したため浄水場が停止するということがありました。取水方法が地下水汲上揚水

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	河川取水のいずれかによって状況は異なりますが、火山灰の影響
	で設備が壊れたら上水道は停止してしまいます。以上のことから
	以下についてお尋ね致します。
	(1)ハザードマップの見直しについて市の考えをお伺い致します。
	(2)市民の生活生命線である上水道の火山灰対策をお伺い致します。
	す。
	(3)活火山噴火に対する本市の危機管理についてお伺い致します。
3. エボラ出血熱対策について	西アフリカより始まったエボラ出血熱の流行により8月8日、
	世界保健機関(WHO)は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事
	態」であると宣言しました。11月2日までにおけるWHOのまとめ
	では、感染疑い例も含め13,042名が感染し、4,818名が死亡と出
	ており、感染した患者のいる国も拡大しています。もはや対岸の
	火事ではなく、国際化が進んでいる今、日本においてもいつどこ
	で発生してもおかしくありません。実際、感染の疑いのある方が
	入国したことも記憶に新しいところです。幸い陰性でしたがエボ
	ラ出血熱に対しても早急に対応を進める必要があると考え以下
	についてお尋ね致します。
	(1)エボラ出血熱に対しての本市の対策をお伺い致します。
	(2)国・県・医療機関の連携について課題をお伺い致します。
	(3)市民への周知についてお伺い致します。

受付番号	平成26年11月17日
第12号	午前 10時00分受付 午後

平成26年11月17日

那須塩原市議会議員 中村芳隆様

議席番号 11番 高久好一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 学校図書館・図書室の職員について	全日本教職員組合は10月、小中学校の図書館・図書室の職員の配置に関するアンケート調査結果を発表した。 本市の現状と考えを求める。 (1) 図書館を担当する司書や担当職員の配置、資格、勤務時間はどのようになっているか。 (2) 12学級以上の学校には、講習を受けた司書教諭を置くよう、法的に定められている。しかし、全国的には、授業や校務があるため、十分に機能していないと言われているが、本市はどのように対応しているか。 (3) 国は2012年、1週間当たり30時間、おおむね2校に1人の配置が可能とする財政措置を実施したが、新たな施策を進めた自治体は17%にとどまっている。 本市はこの措置をどのように活用しているか。
2. 子ども子育て新支援制度の進捗について	多くの保護者が新制度に、期待と不安を抱きながら入所・入園の手続きを始めている。 以下のとおり、伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 入所・入園の説明会はどのように行われ、申し込み状況は例年と比較してどのようになっているか。
	(2) 規模が大きな認定こども園は収入が減少するとされ、躊躇する幼稚園が続出したが、補助の問題は見直されたか。
	(3) 制度の間隙を狙い、補助率が高く収益が見込めるとして19人以下で保育士の資格を必要としない家庭的保育等の事業者の参入が問題になっているが、市の申請状況と対策を求める。
3. 防災行政について	国は、相次ぐ大規模災害に対し、住民の安全と安心のため、災害対策基本法改正を全会一致で可決した。
	そこで、以下のとおり、伺う。
	(1) 本市の災害対策の現状と課題について伺う。
	(2) 現在、市が避難所に適さないとして除外している公園や学校などの施設はあるか。
	(3) 国の法改定で盛り込まれた大規模災害時の放置車両について、車両の移動にかかる自治体の負担を軽減するよう、国に要請する考えはあるか。
	(4) 防災・減災対策として、「災害発生から逆算し、自治体の住民の動きをあらかじめ定めておくタイムライン（事前行動計画）」を導入する自治体が報道されているが、市の考えを求める。
4. 障害者差別解消法の実施に向けて	障害者差別解消法が昨年成立し、2016年4月から実施されることになった。市の取り組みの進捗と考えを求める。
	(1) 本市の差別解消に向けた現状について聞かせて欲しい。
	(2) 導入に向けての課題は何か。

受付番号	平成26年11月17日
第13号	午前 午後 10 時 40 分受付

平成26年11月17日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 4番 齊 藤 誠 之



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 小規模企業振興基本法、並びに小規模支援法について	全国385万の中小企業、中でもその9割を占める小規模事業者は、地域の経済や雇用を支える極めて重要な存在であり、経済の好循環を全国津々浦々まで届けていくためには、その活力を最大限に発揮させることが必要不可欠と言われておりますが、小規模事業者は、人口減少、高齢化、海外との競争の激化、地域経済の低迷といった構造変化に直面しており、売上げや事業者数の減少、経営層の高齢化等の課題を抱える中、「小規模企業振興基本法」、及び「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」が成立し、公布されました。 「小規模企業振興基本法案」は、小規模企業の振興に関する施策について、総合的かつ計画的に、そして国、地方公共団体、支援機関等が一丸となって戦略的に実施するため、政府が基本計画を閣議決定し、国会に報告する等の新たな施策体系を構築するものです。 また、「小規模支援法案」は、半世紀以上にわたり小規模事業者の経営相談に応じてきた商工会及び商工会議所が、市町村や地域の金融機関等と連携して、小規模事業者の意欲ある取組みを強力に

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	支援するための体制を整備するものとうたっております。
	本市においても、重要な法案であることから、以下の点について、
	お伺い致します。
	(1) 小規模企業振興基本法について、本市の課題並びに、今後の
	の取組みについてお伺い致します。
	(2) 小規模支援法について本市の課題並びに、今後の取組みに
	ついてお伺い致します。
2. まちなか創出について	中心市街地の空洞化、或いは商店街の消滅等が指摘されるように
	なり、数年の間に、各地で主に普通の市民による自主的な取り組みによって「街の表情を取り戻す」ことや、「街の賑わいを復活させること」が試みられています。どの地域の取組みも商店街の復活とまではなかなかたどり着かない現状がありますが、国は各種
	の補助金と新規参入の規制を中心とした、多様な商業政策を展開してきました。
	変わりつつある商店街とまちの賑わいとは何かという考えのもと、西那須野地区を中心にお伺い致します。
	(1) 西那須野地区の商店街の現状をお伺い致します。
	(2) 西那須野駅周辺の開発の経緯と今後の課題についてお伺い致します。
	(3) 過去の西那須野地区において、どのような活性化策がなされてきたかお伺い致します。
	(4) 商店街の衰退をどのように考えているのかお伺い致します。
	(5) 街の賑わいの創出をどのように考えているのかお伺い致します。

受付番号	平成26年11月17日
第14号	午前 11時30分受付 午後

平成26年11月17日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 23番 平山啓子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. ボランティア・ポイント制 度について	各地の自治体では、「支え合う」市民の力を活かせる地域づくり に向け、ボランティアによる地域への貢献を評価し、その活動に 報いるための「ボランティア・ポイント制度」を取り入れ、地域 福祉活動の裾野を広げる取り組みがされています。これまでも 何度か一般質問させていただきましたが、再度お伺いするもので す。 (1) ボランティア・ポイント制度活用に向けて、どのようなご 検討がされたか伺います。 (2) ボランティア・ポイント制度と同じ仕組みで、対象を介護 分野に限った介護支援ボランティアについてのご検討を伺い ます。
2. 子育て支援の一環としての 不妊症対策について	妊娠しても流産や死産、新生児死亡を繰り返して、結果的に子 どもを持たない場合を不妊症と呼びます。調査では妊娠した女性 の2～5%程度と言われています。不妊症の人が全体の5%とす ると、1年間に約1000人の赤ちゃんが生まれている本市では、 年間約50人の赤ちゃんが不妊症のために生まれることができ

[illegible]

受付番号	平成26年 11月 17日
第15号	午前 11 時 40 分受付 午後

平成26年11月17日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 22番 玉 野 宏



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須地域定住自立圏構想を 踏まえた市の将来像について	中心市である那須塩原市と大田原市、那須町、那珂川町の2市 2町において構成する「那須地域定住自立圏構想」においては、 平成25年12月18日に中心市宣言を行い、平成26年4月1 日に、推進協議会を設置しました。今後、定住自立圏の形成に関 する協定を締結し、共生ビジョンを策定していくことになること から、本圏域における重点テーマ（環境・観光・公共交通）及び 市の将来像について、以下のとおり、伺います。 (1)「環境」について ①本市及び圏域において、導入可能な再生可能エネルギーはど のようなものが考えられるか。 ②低炭素社会を実現するための、エネルギーの創造及び利活用 について、具体的にどのようなことを考えているか。 ③循環型社会の構築のためには、何が必要と考えるか。 (2)「観光」について 観光、物産資源の有効活用・販路拡大に向けたPR活動並び に、本市及び圏域における資源については、どのようなもの が考えられるか。また、PR活動に関する具体的方策には、

